令和５年度　第１回伊勢原市地域公共交通協議会　会議録

〔事　務　局〕　都市政策課
〔開 催 日 時〕　令和５年７月２４日(月曜日)　午後１時３０分から午後２時４５分まで
〔開 催 場 所〕　伊勢原市役所３階　全員協議会室
〔出　席　者〕
（委　　員）　藤井会長、大島副会長、小堤委員、金子委員、佐藤委員(代理出席)、森委員、宮原委員、高橋委員、松田委員、小下委員(代理出席)、雀田委員、福永委員、市川委員、平田委員、小川委員、最上委員、菊本委員、吉野委員、土方委員
（欠席：佐伯委員）
（事 務 局）　吉田都市部長、志村都市政策課長、ほか２名
〔公開の可否〕　公開
〔傍　聴　者〕　０名

《審議の経過》
１　開　　会
２　委員委嘱
３　挨　　拶
４　会長及び副会長の選任
５　議　　事
議案第１号　令和５年度事業計画（案）について
６　そ の 他
７　閉　　会

会長、副会長挨拶の後、議事に入る。

（会長）
　議案第１号「令和５年度事業計画（案）」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局説明】

（会長）
　ありがとうございました。
　本年度は、今年６月に公表した地域公共交通計画における５年計画の１年目となります。計画に示す８つの施策については、すぐに実施できるもの、少し精査が必要なものなど、時間軸の違いがあります。そうしたことを踏まえ、ただいま事務局から説明がありました令和５年度の事業計画（案）について、委員の皆様にお諮りするものです。
　御質問、御意見等ございますか。

（会長）
　スライドの６から８ページで、計画に示す施策ごとの評価指標に関する現況値と目標値の説明がありました。現況値の年次は令和３年度、目標値の年次は令和９年度としていますが、現況値から目標値までの変化を令和３年度から令和９年度で見るのではなく、令和元年度や平成 30 年度などのコロナ前から見ることが、伊勢原市の目標設定の考え方を読み取ることにつながると思います。

（委員）
　施策６において、地域のニーズに合った公共交通の提供の検討があげられています。
　他自治体でも、福祉有償もしくは無償での運送を検討しているところもあります。また、より高齢化が進んでいる地域では、こうした支援をバス停までの移動に対して導入を望んでいる自治体もあります。バス事業者として一つ懸念していることが、福祉運送などがバス路線と競合してしまっている地域もあることです。今後このような運送を検討する場合は、協議をさせていただいて、導入の検討をしていただきたいと思います。

（事務局）
　高齢者等の移動に関しては、福祉施策との連携を検討していきたいと考えています。また、検討に当たっては交通事業者の皆様との連携と協力のもとに進めていきたいと思います。

（会長）
　免許返納率について、他自治体では少しずつ下がってきているところもあり、やはりコロナで自家用車需要が増えてきていることもあると思います。この需要をどうやって公共

交通需要に転換していくかが重要になっていくと考えます。

（委員）
「伊勢原市公共交通の極」について、バスのちびっ子キャンペーンの記載がありますが、小田急電鉄の小児旅客運賃一律 50 円の方が、早く導入しているので、「バスと電車あわせて 100 円で移動できます」などの内容で掲載すると、よりインパクトが大きくなると思うので、ぜひ検討してほしいと思います。
また、バス路線について、観光地などの代表的な路線などを掲載すると、より利用してもらえるのではないかと感じました。

（事務局）
「伊勢原市公共交通の極」は令和元年度に作成して、情報の更新を行っていなかったため、今年度情報の更新を行い、市民に配布をしていきたいと思います。また内容につきましては、各事業者の方に御協力いただきながら進めていきたいと思います。

（委員）
事業計画において、事業に関する具体的な記述が少ないと感じていますが、今後、主な関係機関として挙げられている各事業者と協議をしながら進めていくという理解でよろしいですか。
また、今後、具体な事業を進めていく場合に、中間報告などはされるのですか。

（事務局）
事業の具体的な内容につきましては、今後、各関係機関と協議・調整をしていくことになります。
なお、中間報告などにつきましては、今後の事業の進捗状況などを踏まえながら、必要に応じて、対応していきたいと思います。

（会長）
計画に基づき、今年度具体的にどのような内容を進めていくかについて事業計画（案）の中で時間軸として十分に表現できていない部分もあるので、具体の取組に当たっては、そうした面を考えていく必要があると思います。
また、MaaS や自動運転などの次のプロセスを検討していくとすると、それらの目標を持った時に、その目標に対して、どういう姿勢で取り組むのかも重要になってきます。
また、計画は始まったばかりですが、次の５年のスパイラルアップの方向を考えて計画の進行管理をする必要があると思います。総合計画や都市マスタープランなど、まちづくり全体の計画の時間軸を考えるとともに、伊勢原市の公共交通事業の達成状況が今どこにあるのかを考えながら、地域公共交通計画の時間軸を検討してほしいと思います。

（会長）
　先ほどの御質問でもありました、事業の報告につきましては、「実施報告」という形式での報告になるのか、または、書面会議などの形式で協議するのか、事務局で御検討いただいて、必要に応じて対応いただきたいと思います。

（会長）
　その他、御意見等ありますか。特になしということでよろしいでしょうか。
　今年度の事業計画（案）について、また次回の協議会については２月頃に開催すること、今年度の事業報告については、次回の協議会もしくは必要に応じて、中間報告の場を設けていきたいということでしたが、皆様よろしいでしょうか。

【異議なし】

（会長）
　ありがとうございました。
　事務局においては、事業計画に基づき本年度の取組を進めていただきたいと思います。
　以上をもって、会議進行を事務局にお返しします。

【吉田都市部長挨拶後、閉会】